SANIKU GAKUIN COLLEGE

キリストの愛を通して、全人格的成長と豊かな人間性の形成を実現する

三育学院大学 看護学部

"To Make People Whole Through Christ's Love"

「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書7章12節（新共同訳聖書）

"Do for others what you want them to do for you" Matthew 7:12

三育学院大学は、全人的教育を理念に据えるキリスト教大学です。
その理念を実現するため、"Do for Others（他者への貢献）"を私たちのモットーとしています。

"Do for Others" Matt. 7:12
SGC
Saniku Gakuin College

CONTENTS

02 学長メッセージ・三育学院ストーリー
キリストの教えを土台とした全人的教育
80余年の歴史と伝統に育まれる看護教育

04 学部長メッセージ・三育学院の学び
全人的看護を実践する「三育ナース」に
全人的教育を形成する三育・学びの体系

06 カリキュラムの考え方
キリストの愛に根ざした人間性と
ホリスティック・ナーシングを実践する看護職者を育てます

08 4年間の学び

10 全人的看護Ⅰ

12 全人的看護Ⅱ

13 東京衛生病院について

14 自律心を養う寮生活

16 国際的な学びの環境

18 健康的なSDAライフスタイル

20 ボランティア活動・労作教育

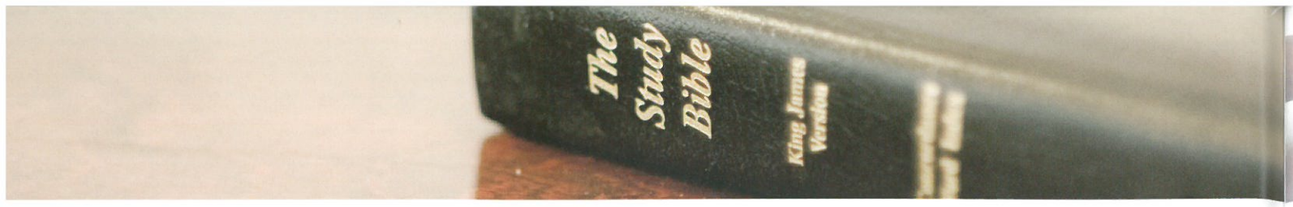
22 卒業生メッセージ
三育の学びからプロフェッショナルへ

24 学生座談会
こんなに濃密な学生生活は三育学院大学でしか味わえない！

26 オープンキャンパス日程

28 アドミッションポリシー・奨学金情報

29 入試情報・アクセスマップ



キリストの教えを土台とした全人的教育が育む 看護専門職者としての心の成熟と献身の姿勢

「すばらしい仲間がいて人間として大きく成長できました。仲間との出会いは一生の宝です。」この春、三育学院大学を卒業した学生が4年間の学びを振り返り話してくれた言葉です。三育学院での教育、そしてキャンパスライフを良く表していると思います。

三育学院は、豊かな自然に囲まれ、四季折々の花が咲き、南欧風の建物が青い空と緑の芝生に映える美しいキャンパスを持つ大学です。学生たちは都会の喧騒から離れた安全で豊かな環境で、仲間と共に寮で生活し、集中して学ぶことが出来ます。寮生活は、学友と生活する楽しい場であると共に、豊かな人間関係を形成する学びの場でもあります。看護師として求められる人間理解、他者との関係性を構築する力が日々の生活を通して身についていきます。

三育学院大学の教育の土台は、キリスト教にあります。聖書の教えに基づいた、他者への深い思いやりと、喜んで奉仕する精神を学び、聖書の豊かな物語から、深い人間理解と洞察を学びます。身体的な必要と共に患者様の持つ全人的なニーズに応えられる看護師養成を目指しているからです。もちろんキリスト教の信仰を強要されることはありません。信仰や人の生き方は、一人ひとりが主体的に選びとるものだからです。キリスト教に基づいた生活を実践する中で、他者に仕える献身的な姿勢を心の深い部分から育んで欲しいというのが、私たちの願いです。

看護師、保健師を目指す4年間の学びを通して、専門職者としての知識と技能を身につけると共に、ひとりの人間として成長し、成熟する機会を提供する教育、これをわたしたちは「全人的教育」と呼んでいます。そしてこの「全人的教育」は、キャンパスに溢れるキリスト教の雰囲気、学校の環境、自律心が養われる寮生活、そしてボランティア活動や労作教育など、4年間全ての学び、生活を通して育まれるものと考えています。

三育学院大学は、このような教育を希望し、看護師としてまた保健師として、人々のために日本の社会で、また世界で活躍する高い志を持つ学生を求めています。

三育学院大学
学長 東出克己 KATSUMI HIGASHIDE

80余年の歴史と伝統に育まれる 三育学院大学の看護教育

三育学院大学は、明治31年(1898年)にセブンスデー・アドベンチスト(以下「SDA※」と記載)教会の宣教師ウィリアム・C・グレンジャーが東京麻布に創立した「芝和英聖書学校」を前身とします。昭和3年(1928年)には「東京衛生病院看護婦学校」が開校され、以来、一貫して「全人的看護」を目指す看護師の育成を理念に据え、現在に至っています。

ウィリアム・C・グレンジャー

三育学院沿革

1896	(明治29年)	SDA教団の宣教活動開始。ウィリアム・C・グレンジャー宣教師来日。 2年後、東京麻布に「芝和英聖書学校」開校。
1919	(大正 8年)	東京杉並村天沼に「天沼学院」開校。小学、中学、高等部を併設。
1926	(大正15年)	千葉県袖ヶ浦市に男子部移転。名称を「日本三育学院」とする。天沼学院は「日本三育女学院」と改称。
1928	(昭和 3年)	「東京衛生病院看護婦学校」天沼に開校、後「東京衛生病院看護学院」に改称。
1948	(昭和23年)	「財団法人三育学院」に改組し、「日本三育学院神学校」と称する。
1950	(昭和25年)	東京衛生病院看護婦養成所と名称変更。2年後、厚生省の認可を受ける。
1951	(昭和26年)	日本三育学院神学校は「学校法人三育学院」に改組。2年後、「日本三育学院カレッジ」と改称。
1971	(昭和46年)	「三育学院短期大学」英語学科の認可を得る。
1974	(昭和49年)	「東京衛生病院看護婦養成所」をカレッジに移管し、「三育学院カレッジ看護学科」と名称変更。
1976	(昭和51年)	専修学校発足に伴ない、カレッジを「専門学校三育学院カレッジ」と改称。
1978	(昭和53年)	専門学校・短期大学は千葉県袖ケ浦市より夷隅郡大多喜町久我原へ移転。
1987	(昭和62年)	カレッジ看護学科を短期大学看護学科へ改組転換。
2004	(平成16年)	短期大学に専攻科(地域看護学専攻)を設置。
2007	(平成19年)	12月、「三育学院大学　看護学部看護学科」認可。
2008	(平成20年)	「三育学院大学」開学、看護学部看護学科を設置。

INTERVIEW

80年以上 守り続けた 自信と信頼

須藤勲子(すどういさおこ)先生に聞く

昭和20年東京衛生病院看護学校卒業、看護師免許取得。以降、東京衛生病院、日本医療財団杉並病院などで看護師として勤務。昭和42年から43年にかけ米国ロマリンダ大学看護学部及びデンバー市、ポーターメモリアル病院他にて看護教育方法の研修を受ける。昭和47年より東京衛生病院看護学院院長、専門学校三育学院カレッジ看護学科主任、群馬大学医療技術短期大学部教授等を経て、昭和62年専門学校より改組した三育学院短期大学看護学科学科長を4年間務める。

これから看護を学ぼうとしている人たちへ伝えたいことは？

例えば収入面ではこの仕事の方がずっといいし、この仕事の方が肉体的に楽にできるというものはあると思います。でも、仕事として選ぶならば、看護にまさるものはないと思います。そして、その看護を選ぶならば、同時に信じる心を持たなければやり通せる仕事ではないと思います。お金のためだけに看護師になるのではなくて、信じる心を大切に、自身の内に育てながら…。

他の言葉で言い換えれば、自分自身が自信と信頼をしっかりと持つことです。

※SDA：Seventh-Day Adventist
三育学院大学設立母体の宗教法人(キリスト教プロテスタント)

大正時代の天沼学院

旧袖ヶ浦キャンパス

患者様に全人的看護を実践する「三育ナース」に

Hello, and thank you for considering Saniku Gakuin College as the institution that will prepare you for your career! Our campus offers a tranquil setting, a committed faculty who provides personalized attention, and a program with many opportunities to interact internationally. Because several of our faculty come from diverse countries, some classes are offered in English and Japanese, allowing students to be exposed to English on a daily basis.

Here at Saniku, our view of nursing care is unique—our philosophy of whole person care guides our teaching. By the time our students graduate, they have learned to care for the "whole" person, providing excellent physical care, and also seeking to improve the psychological/emotional health and spiritual health of the client as well.

An additional uniqueness of Saniku Gakuin College is that we offer an extracurricular program where students elect to go abroad to a U.S. based University. They stay with a host family, have intensive English language studies, attend nursing classes, and participate in simulation labs to become acquainted with the U.S. health care system. I encourage you to consider becoming a Saniku Nurse-and make a difference in bringing wholeness to the lives of your clients.

Hello! 三育学院大学をあなたのキャリア実現のための学校として考えていただきありがとうございます。三育学院大学は穏やかな環境に恵まれ、一人ひとりの学生に寄り添う有能な教員と国際的に活躍できるプログラムを持つ学校です。本学は、外国から来ている教員もおり、英語と日本語の２カ国語で行われる授業など、英語に触れる機会が多くあります。

三育学院大学が目指す看護教育は特色に富んだものです。一つの特色は本学の全人的教育という教育理念です。みなさんが卒業するときには、患者様に物理的なケアだけでなく、精神的・心理的そしてスピリチュアルなケアを含む「全人的な看護」を学ぶことができます。

もう１つの特色は、在学中に米国の大学の看護学部で研修できるプログラムが用意されていることです。ホームステイをしながら、英語を学び、看護学の授業にも参加し、米国の実際の看護演習のプログラムも体験できます。

ぜひ、患者様に「全人的看護」(ホリスティック・ナーシング)を実践する「三育ナース」を目指して下さい。

三育学院大学 看護学部
学部長 J.ニック JAN NICK

全人的教育を形成する三育学院大学ならではの学び

三育学院大学は、人間の備える身体と知性と霊性(知徳体)のすべての面を最大限に発達させ、円満な人間形成を実現すること(To Make People Whole Through Christ's Love)を理念に据えるキリスト教大学です。

三育学院での学生生活を通して、学生一人ひとりの豊かな人間性を育む総合的な教育を「全人的教育」と考えています。学内に息づくキリスト教の雰囲気、環境、カリキュラム、他者との関わり、ボランティア活動やその他の活動などを通して、欠けたところのない人間として成長することを目指しています。

その実現のため「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」との新約聖書の言葉から、"Do for Others(他者への貢献)"をモットーにしています。

三育学院大学・学びの体系

CURRICULUM

全人的看護教育（カリキュラムの考え方）

看護学科のカリキュラムは、「豊かな人間性を育てる」と「専門職者をつくる」　という2つの側面から成り立っています。

※看護学士　看護師国家試験受験資格取得

豊かな人間性を育てる

キリスト教教育

キリスト教教育は全ての科目の土台です。ホリスティック・ナーシングを標榜する本学において、キリスト教の価値観や使命感を根底に持ち、人間を統合体として理解し、人間のスピリチュアルな側面も包括した"全人的回復"を目指すことのできる人を育てます。

専門科目

大学における看護基礎教育に必要な科目を領域別に編成し、それぞれの専門性に応じた知識と看護技術を学ぶ科目群です。

専門基礎科目

看護学の学びの基盤となる科目や、医療・保健・福祉と協働するチーム医療の実践に必要な科目群です。

教養教育科目

物事を論理的に考え問題解決できる力、人間関係を円滑にする人との関わりを実践できる力、国際化や科学技術の進展等社会の変化に対応できる力を身につけるための科目群です。

専門職者を育てる

公衆衛生看護学（選択制）※保健師国家試験受験資格取得

保健師国家試験の受験資格を希望する学生（12名まで）が選択する科目群です。地域で暮らす人々の生活を社会や健康と関連させて、地域住民全体の健康の保持増進や病気の予防を図るために展開する保健師活動に必要な知識と技術を学びます。

発展科目

すべての看護学学習を土台として、卒業までの期間に、興味ある領域での課題を選択して学習を深めます。例えば、看護管理学、国際看護実習、卒業研究などがあります。

7つの看護領域

母性看護学

人間の性と生殖に関する健康問題、母と子そして家族の健康について、看護の視点から学びます。

小児看護学

子どもの体と心と社会性が健やかに成長発達していけるように、子どもと家族を支援する看護を学びます。

成人看護学

成人を対象にけがや手術を受けた人を早期に回復させる看護や生活習慣病をもちながら生きる人を援助する看護を学びます。

老年看護学

社会の変化に伴って高齢者がおかれている多くの側面を考慮し、柔軟に対応していく実践看護を学びます。

精神看護学

心を病む人や心の問題を抱える人々への看護を学び、人々の心の健康回復や健康維持のための支援を考えます。

地域看護学

地域で生活する個人・家族の健康課題を知り、必要な看護ケアや地域におけるチームの連携について学びます。

基礎看護学

看護とは何かを言葉の意味から理解することからスタートします。その上で看護実践の基盤となる技術、看護の歴史、倫理、研究などを楽しく学び、続く看護専門教育の導入とします。

10の教育目標

1 神の愛を学ぶことにより、自己と他者の価値と尊厳を認める。

2 自己、他者、そして神との対話を通し、自分を見つめ、成長させる。

3 人間関係を円滑に保つコミュニケーション能力を身につける。

4 物事を論理的に考えるクリティカルな思考力と、問題と主体的に取り組む姿勢を持つ。

5 看護専門職者として高い倫理観を備え、適切で安全な看護を実践する基礎的能力を身につける。

6 自己の行動に責任を持ち、他職種と連携して働くことができる。

7 自己研鑽に努め、看護学の発展に寄与する。

8 SDAライフスタイル★に基づいた健康的な生活の実践と啓蒙に努める。

9 国際性を養い、人種・文化・心情を超えた看護を実践できるとともに、国際交流や国際協力に貢献できる。

10 神に仕えるように人に仕える精神を持ち、喜びと意義ある天職として看護の働きを実践する。

★SDAライフスタイルについてはP.18、19をご覧ください。

看護師と保健師の国家試験受験資格が得られます

選択制の保健師課程を履修すれば、卒業時には看護師の国家試験受験資格にくわえて、保健師の国家試験受験資格が得られます。看護師国家試験と保健師国家試験の両方に合格すれば、養護教育2種免許と衛生管理者の資格も申請によって取得でき、看護師の資格だけではできない分野まで、活動の幅が大きく広がります。

看護師 ＋ 保健師［選択制］

入学 → 卒業

1年次（1年前期〜1年後期）

緑の木々に美しい花々、小鳥のさえずりが心地よいキャンパスで、同じ目的をもった仲間と出会い学生生活がスタートします。講義では「看護学概論」や「人体の形態と機能」といった科目の他に、「キリスト教概論」「心理学」「英語」「社会学」など多くの教養教育科目が履修できます。そして先輩や同級生と共に過ごす寮生活では看護の基盤となる対人関係能力が豊かに育まれます。

2年次（2年前期〜2年後期）

キャンパスでの生活にも慣れ、いよいよ看護学の学びが本格化します。目指す看護を学生が主体的に学び、グループワークや技術の演習・基礎看護学実習に臨みます。また、夏休みを利用して3週間の米国系列大学看護学部への短期留学があります。

3年次（3年前期〜3年後期）

大多喜での学びを夏までに終え、後期からは東京校舎に移り実習がスタートします。少人数のグループに1名教員がつき、人間の全人的回復を目指した本学の特色である「ホリスティック・ナーシングケア」を学びます。東京での生活も寮を完備していますので安心です。また、選択制の保健師課程が始まります。

4年次（東京校舎に移動 4年前期〜4年後期 国家試験）

5月で東京校舎での学びを終え、大多喜キャンパスに戻ります。大学の学びの集大成としての「卒業研究」や興味ある分野でより実践的な看護を学ぶ「総合実習」が行われます。国家試験も視野に入れつつ、もうすぐ社会人になる者として主体的に学習に取り組んでいきます。また保健師課程では本学近隣の町村で地域看護学実習が行われます。

4年間の学び

4年 4年前期 東京校舎

SDAの信仰
SDA教会史、アセンブリーⅣ

語学の修得
英語Ⅲ（論文購読）

発展科目
看護教育学、看護における補完療法、総合実習、卒業研究など

公衆衛生看護学
地域ケアシステム論、公衆衛生看護学実習など

選択制

専門領域別実習
小児、成人、老年、母性、精神、在宅看護学

3年 3年後期 大多喜キャンパス

SDAの信仰
クリスチャンサービス、アセンブリーⅢ

自然の理解
生活環境論

人間と健康
疫学、疾病治療学特論

健康と環境
保健医療福祉行政論、保健医療社会学など

発展科目
国際看護論、スピリチュアルケアなど

小児看護学
小児看護方法論Ⅱ

成人看護学
成人看護方法論Ⅲ（終末期看護）

老年看護学
老年看護方法論Ⅱ

精神看護学
精神看護方法論Ⅱ

公衆衛生看護学
公衆衛生看護学原論、学校保健、対象別支援技術論など

選択制

2年

SDAの信仰
現代とキリスト教、アセンブリーⅡなど

文化・社会の理解
異文化演習、日本国憲法など

語学の修得
英会話Ⅱ（看護英会話）、英会話Ⅲ（海外研修）など

人間と健康
疾病治療学、薬理学など

健康と環境
保健医療福祉論

発展科目
医療安全学

母性看護学
母性看護方法論Ⅰ・Ⅱ

成人看護学
成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ（急性期・慢性期）

老年看護学
老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ

小児看護学
小児看護学概論、小児看護方法論Ⅰ

精神看護学
精神看護学概論、精神看護方法論Ⅰ

地域看護学
地域看護方法論、家族看護学、在宅看護論など

基礎看護学
看護技術各論Ⅱ～Ⅳ（診療の補助、フィジカルアセスメント）など

1年

SDAの信仰
キリスト教概論、キリスト教音楽アセンブリーⅠなど

文化・社会の理解
社会学、ボランティア活動論など

自然の理解
生物学、化学など

語学の修得
英語Ⅰ・Ⅱ、英会話Ⅰ、韓国語

情報科学
情報科学、統計学、論理的思考

人間の理解
哲学、心理学、人間関係論など

教養教育科目

人間と健康
発達心理学、人体の形態と機能
栄養学、公衆衛生学

健康と環境
微生物学

専門基礎科目

母性看護学
母性看護学概論

地域看護学
地域看護学概論、地域看護学実習

成人看護学
成人看護学概論

基礎看護学
看護学概論、看護技術各論Ⅰ
基礎看護学実習など

専門科目

前期

公衆衛生看護学実習

保健師国家試験の受験資格を希望する学生が選択する実習です。市町村保健センターや保健所において、地域で生活する人々の健康課題を明らかにし、それを改善するために多くの職種と協働して展開する保健師活動の実際を学びます。

小児看護方法論Ⅱ

健康障害を持つ子どもに、心理的な安定や、病と闘って生きるエネルギーをもたらすために、子どもと家族に焦点を当てた子どもの発達に応じた看護の方法を学びます。

看護技術各論Ⅱ～Ⅳ

1年次には生活援助技術を学び、2年次では与薬・検査などの援助技術を講義・演習を通して学びます。また看護における問題解決的思考である看護過程を学びます。

看護学概論

看護学で一番初めに学ぶ科目で、看護学の基盤となる看護の概念や歴史、看護の対象や役割などを学びます。授業を通して看護の対象である人を全人的にとらえることの意味を考えます。

後期

卒業研究

既習の「看護研究の基礎」に続き、看護現象に潜む問題の解決に適用できる研究プロセスについて学修します。そして、その研究成果を論文としてまとめます。

総合実習

すべての実習を土台とし、自分の興味ある領域を選択して、これまで学んできた知識・技術・態度を統合させ、より高い看護実践を修得していきます。まさしく、4年間の学びの集大成となる実習です。

専門領域別実習

3年次後期より4年次前期にかけて主として東京にある系列病院において専門領域の実習を行います。学内で学んだ知識を生かし、小児看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学の特色ある看護の対象と健康問題を理解し、根拠ある看護実践ができるよう実習をします。

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ

急性期や慢性期の健康障害を持つ患者や家族の問題を理解し、その人らしく生活出来る看護を学びます。

人体の形態と機能（通年）

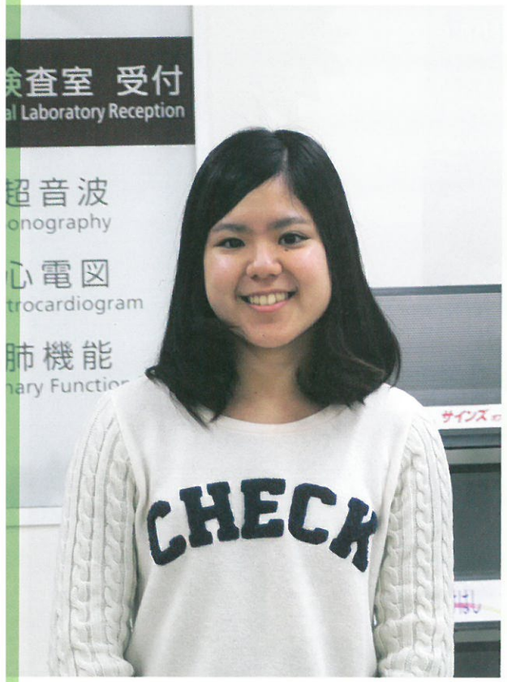
からだの形態と機能を学び、健康障害の理解、健康障害による日常生活行動への影響や適切な看護を考えるための基礎的知識を身につけます。

全人的看護Ⅰ

キリスト教の精神から学ぶ
看護専門職者としての心の成熟と献身の姿勢

相手の立場になって尽くすこと。命の大切さを知ること。敬虔なクリスチャンでもあったナイチンゲールの看護の精神は、キリスト教の教えに基づいています。

この「命を敬い、他者に尽くす」キリスト教の教えから、看護専門職者としての心のあり方、献身の姿勢を学ぶことができます。キリスト教を土台とする本学では、寮で行われる日々の礼拝、聖日礼拝、講義前に献げられる祈り、バイブルウィークなどを通してキリスト教の本質的な価値観に触れ、体験することによって、"Do for Others(他者への貢献)"を実践する看護の精神を学ぶことができます。そして、看護のプロフェッショナルとして必要な隣人愛に基づいた看護の精神を身につけます。



患者様との関わりを学べる実習は何よりも貴重な経験

「何をしたらいいんだろう？何をお話したらいいんだろう？」

初めての領域別実習。医療の現場に出て本当の患者様を前にしてみると、わからないことだらけでオロオロしてばかりでした。

毎日一生懸命復習と予習をして実習に臨んでも、なかなかイメージどおりの看護はできず、実習が苦痛だった時期もありました。

でも、そんな私を一番励まし、勇気付けてくださったのは、他ならぬ患者様でした。初めての実習の最終日。受け持ちさせていただいた患者様もその日に転院することになっていました。最後にリハビリと転倒防止に関するパンフレットを持って挨拶に行ったら、なんとその患者様が涙を流して喜んでくださったのです。本当に胸が打たれる思いでした。

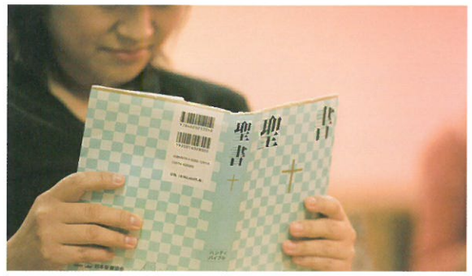
患者様やそのご家族との関わりは、実習でしか学べないことです。患者様の言葉や先輩看護師のアドバイスをいただきながら、本当に貴重な経験ができました。

三育学院大学では看護の技術はもちろんですが、キリスト教を通して患者様の心に寄り添う姿勢を学ぶことができます。私も単なる技術者ではなく、多角的に患者様をケアできる看護師を目指したいです。

島尻真菜子さん MANAKO SHIMAJIRI
私立 広島三育学院高等学校 出身

CMC(Campus Ministry Center)の活動・宗教行事について

三育学院大学の土台となる宗教活動を支えるのがCMC。牧師、宣教師に加え、活動の中心となっているのが学生スタッフです。1限クラスが始まる前のお祈りの会から近くの海岸で行われる宗教プログラム、英語によるプログラムなど内容も盛り沢山。ほとんどの活動が学生スタッフによって運営されています。全学生が参加するバイブルウィークは聖書のメッセージをゲストスピーカーから学ぶ1週間です。心の励まし、人生の指針となる聖書の言葉と出会うことができます。



教員からのメッセージ

看護の精神の土台はキリストの愛

宗教部長 近藤光顕 KOKEN KONDO

看護学実習の前に看護学生が宣誓する国際看護誓詞は、「私は看護の任務を忠実に果たすために、神と会衆の前に厳粛に誓います。」という言葉から始まります。この誓詞のもとになったナイチンゲール誓詞にも「神に誓う」という文言がありますが、この言葉は、看護の精神が聖書と聖書を土台とするキリスト教信仰と関連があることを示しています。本学のキリスト教教育を通して、看護の精神の源泉となっている聖書とキリスト教信仰を学ぶことにより、聖書が示す神の愛を土台とした価値観や倫理観を培います。また施設訪問や海外ボランティア等の様々な奉仕活動を通して、実践的に奉仕の精神を身につけます。

相手の心に耳を傾けよう

東京衛生病院 牧師室 永田英子さん HIDEKO NAGATA

何の情報もない患者様のところに送り出される「成人看護方法論Ⅲ(終末期看護)」演習は学生さんにとって大きなチャレンジです。恐るおそる…目の前の人の心に耳を傾けるときに、情報をはるかに越えたその人との出会いを経験します。そして寄り添うことの難しさを知ることは言うまでもありません。もうひとつ、これは「わたし」と向き合い、それを支える存在を再認識する経験でもあります。学生さんはこのような一週間を過ごして次のホスピス病棟実習に備えます。大多喜キャンパスで育まれた学生さんたちの神に対する畏敬の念と人に対する誠実な態度を垣間見ることができて、私はいつも励まされています。

全人的看護Ⅱ

ユニークな科目から育成する
全人的看護を実践する看護専門職者

三育学院大学では看護の対象者の体のケアだけでなく、心のケアを実践できる看護を「全人的看護」と考えています。そのために「アセンブリー」「スピリチャルケア」「看護における補完療法(米国より講師を招く)」などユニークな科目が開講されています。

また、社会に求められている地域に必要な能力を育成するために1年次から「地域看護学」を学んだり、4年次には興味ある領域を選択し、卒後の臨場実践とのギャップを縮めるために主体的に学ぶ総合看護実習などの科目が配置されています。

看護における補完療法(4年次選択科目)

本学の前身、東京衛生病院看護婦学校の開設当初頃(およそ85年前)より行われているクラスです。水治療法やマッサージ、チャコールを使い、熱を下げたり、痛みを和らげたり、という方法を学ぶ本学ならでは!という貴重なクラスです。根拠に基づいた考えのもと、温めたり、冷ましたり……という方法を学べるので、これまでの学びとしっかりと結びつけながらの学習となり、より理解が深まります。また自分の手や身近にあるものを使って実際に看護するので、すぐに活用できそうです。実際に行う実技にも力が入ります。

かけがえのない存在と捉え
尊厳を重んじることができる看護教育

本学は、一貫してキリスト教の愛と看護学の知識と技を用いて、「全人的看護」を実践する看護専門職者の育成を目指しています。「全人的看護」とは、人間を"かけがえのない存在"と捉え(尊厳を重んじ)、その人の身体的側面だけではなく、社会的側面、心理的側面、さらにはスピリチュアルな側面も含み全人的看護を提供することができる看護教育です。

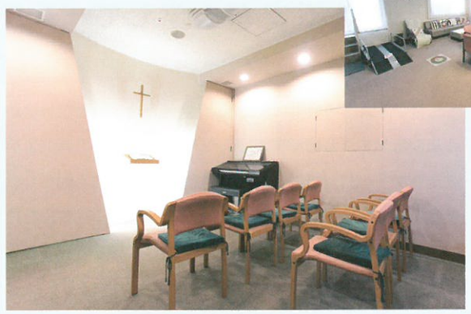
本学の看護教育にはユニークな科目があります。3年次の「スピリチュアルケア」は、「心」「魂」のように目には見えないが、人間の真髄に関わり、自分らしく生きることを支えるケア、病の中で死を間近に感じている人々が、心の奥深くに感じているスピリチュアルペインに対して、看護師はどのようにケアできるのかを学ぶことができます。「成人看護方法論Ⅲ(終末期看護)」の演習では、看護学生としてではなく、一人の人間として終末期患者に出会い、寄り添い、傾聴し、共に祈るという体験を通して祈ることの大切さを実感します。

また、「老年看護学実習」では、ホスピス病棟での実習を通して、その人らしい死「Quality of Death」について考えます。このような経験を通して、学生は「全人的看護」を実践する看護専門職者へと成長します。

TOKYO ADVENTIST HOSPITAL
東京衛生病院について

主たる実習病院となる東京衛生病院と、神戸アドベンチスト病院は同じ理念のもと経営される系列病院で、本学と同じ「全人的看護」を目指す環境で実習を行います。

その他、公立長生病院(千葉県茂原市)、千葉県循環器病センター(千葉県市原市)、慈雲堂内科病院(東京都練馬区)など、目的に応じ複数の医療機関で臨地実習を行います。



同じ理念、雰囲気、香りの漂う病院での実習

東京衛生病院院長 **西野俊宏** Toshihiro Nishino

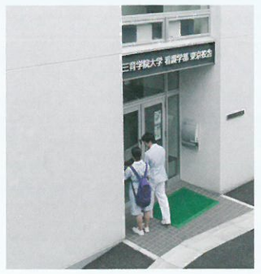
東京衛生病院は三育学院大学の前身、東京衛生病院看護婦学校の開校した翌年、昭和14年にわずか20床から始まりました。開院当初よりキリストの愛に根ざした心からの医の奉仕の働きを使命とし、三育学院と同じ「全人的」な健康の回復のための奉仕を理念としています。当院看護師の多くが三育学院看護学科出身であり、文字通り病院の屋台骨を支えています。三育学院と同じ理念、雰囲気、香りの漂う衛生病院での実習は、現代社会に求められる技術だけでなく、心の癒しを助ける看護専門職者の育成に必ず助けになると信じています。

東京校舎は東京衛生病院のすぐ隣!

ＪＲ中央線荻窪駅から徒歩７分、杉並区天沼の閑静な住宅街に、３階建ての三育学院大学東京校舎があります。本学の主要実習先である東京衛生病院に隣接しており、病院実習が続く３年次後期から４年次前期までの１年間は主に東京校舎で学びを進めます。

校舎内には大教室のほか、セミナー室、図書室などが整備されています。病院実習を終えるとすぐに図書室で新たに学んだことを復習したり足りなかった知識の補習もできます。

東京校舎で学んでいる期間専用の学寮(サフラン寮)も隣接しており、学生たちは学びと実習の場のすぐ近くで暮らしながら、時間を無駄にすることなく、効率的に学びを進め、経験を深めます。



サフラン寮

自律心を養う寮生活

「なじめなかったらどうしよう」
そんな不安が入学して一ヶ月もたてば「寮で良かった」に

三育学院大学の学生は全国区。北海道から沖縄まで各地から集まる学生たちは学生寮に入り、1部屋2〜3名の共同生活を送ります。はじめは共同生活に戸惑うこともあるかもしれませんが大丈夫。1ヶ月もすればすっかり慣れ、同じ志を持つ仲間と一晩中語り合うなど、寮ならではの楽しさを味わっていることでしょう。

共同生活の中で看護のプロフェッショナルとして必要な理解力やコミュニケーション能力も養われ、実習や国家試験に向けて24時間苦楽を共にする仲間や、他学科の学生や留学生との共同生活を通して、生涯の友にも出会えます。

キャンパス内学寮なので講義棟や図書館もすぐそこ。ハードな看護の学びを生活面でしっかりサポートします。

まじめに看護の勉強に取り組むには
寮生活は最高の環境

初めての寮生活。入学前は正直不安でした。友達が作れるか心配だったし、規律が厳しく自由時間が少なそうだなとか、上下関係が厳しいんじゃないかと(笑)

でも入学してすぐに、それらの不安は吹き飛びました。友達はあっという間にできましたし、先輩方もとても優しくて、すぐに生活にもなれました。通学時間がない分自由に使える時間が沢山あるので、勉強の合間には友達と一緒に遊んだり、趣味のピアノを練習したりと、毎日とても楽しく過ごしています。

もちろん勉強面でも寮生活はとても良い環境です。同じ目標を持つ友達と時間を気にせず協力し合いながら勉強できるし、先輩から過去問をもらったりアドバイスをいただくなど、看護師という同じ目標を持つ仲間で助け合いながら取り組んでいます。また先生との距離も非常に近く、夜図書館で勉強していると先生もいらして教えてくださることも良くあります。

集団生活の中で気を遣わなくてはいけない部分もありますが、大人としての基本的なマナーさえ守れば大丈夫。目標に向かってしっかり勉強したい人には、三育学院大学の寮生活は最高の環境です。

宇野智子 Satoko Uno
千葉県立 松尾高等学校 出身

個人・グループでの学びをサポートする学修センター

徹底解剖！三育寮生活

大多喜キャンパスの学生寮は、4名収容の部屋に2〜3名が居住します。基本的に1年から3年生までの学年混合部屋割りとなっています。(領域別実習が終わり、大多喜キャンパスで卒業までの約半年間を過ごす4年生は、同学年部屋です。)

学年混合の部屋割りに戸惑う声を聞くことがありますが、新入生が上級生と同じ部屋で過ごすことにより、生活面を始め勉強の仕方、実習について、またテストの準備など、先輩と過ごすメリットを感じることができます。卒業の際、大学生活の一番の想い出に寮生活を語る学生が多いのも三育学院大学の特色の一つです。

部屋の紹介

1日のタイムスケジュール

6:30	起床
7:15〜7:30	朝礼拝(月・水・金)
7:30〜8:30	朝食(食堂)
8:50〜10:20	第1時限
10:30〜12:00	第2時限
11:45〜12:30	昼食(食堂)
12:50〜14:20	第3時限
14:30〜16:00	第4時限
16:10〜17:40	第5時限
17:30〜18:30	夕食(食堂)
19:30〜21:30	学修センター・自由時間
21:45〜22:00	夕礼拝(日・月・火・木)
22:00	中央灯消灯
25:00	完全消灯

各寮の紹介

スミルナ寮(大多喜:女子)

新約聖書において「キリストの花嫁」と例えられた「スミルナにある教会」から命名された第一女子寮。前身の橋葉キャンパス時代の女子寮から受け継がれた歴史あるその名前には、寮生活を送る学生一人ひとりに、キリストの花嫁にふさわしい清潔さと美しさを身につけてほしいとの願いがこめられています。4階建てで最大120名。

ミルテ寮(大多喜:女子)

3階建てで最大100名が生活できる第二女子寮。ミルテの語源はギリシャ語の「ミルトス(和名ギンバイカ)」です。香り豊かな白く可憐な花が咲く常緑の植物で、新約聖書にも多くその名前が出てきます。その名のとおり、常にキリストの香り芳しく、心身ともに清らかで美しい女性に成長してほしいとの願いがこめられています。

カレッジホール(大多喜:男子)

2つの女子寮から離れた場所、グラウンドや体育館に隣接する男子寮。看護学部の学生はもちろん、併設の三育学院カレッジで神学を学ぶ学生や留学生など多様な学生がここで生活しています。単に生活の場としての寮ではなく、「友愛と真実探求の学び舎」「お互いがお互いのために祈る寮」というのがカレッジホールのモットーです。

国際的な学びの環境

米国系列大学への短期留学や
国際看護実習などから得られるグローバルな視野

海外に数多くの系列大学を持つ本学では、系列大学の看護学部との実質的な交流および協力により、最新の米国の看護を学ぶことができます。また毎夏行われる米国への短期留学研修、国際協力活動を体験する国際看護実習などから、国際的視野を持った看護職者を養成します。

本当の意味でのおもてなし
看護の心をネパールで学んだ

「ここは日本のように便利なものはなく、不便を感じることも多いでしょう。でも私たちの精一杯のおもてなしをしますので、ここでの生活を楽しんでください。」

ネパールにビレッジステイをした初日、村の方からこう言われました。実際、ステイしている間、彼らは自分の生活を削ってまで、私たちに最高のおもてなしをしてくださいました。確かに日本に比べれば便利ではありませんが、心からのおもてなしのおかげで、とても快適に過ごすことができました。

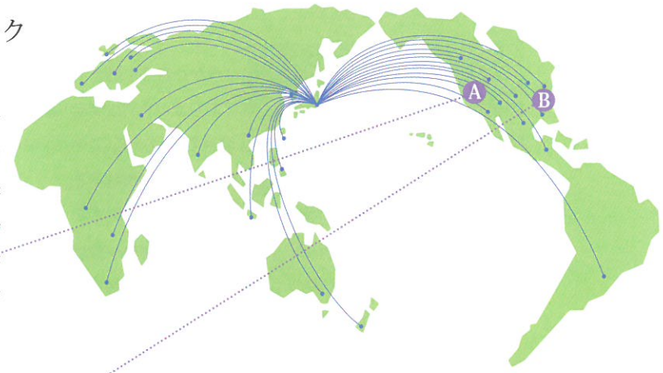
同じおもてなしでも、今の日本では自分を犠牲にしてまで相手に尽くすことはなかなかないと思います。でも今の日本には失われてしまった心からのおもてなしを経験することで、看護の心を学ぶことができました。

将来途上国の医療に携わることが目標の私にとって、国際ネットワークが豊かな三育学院大学は最高の環境です。毎年行われる国際看護の研修では、ネパールをはじめ医療器具や医療体制が整っていない中での看護を経験することができますし、アメリカ研修では逆に最先端の看護を経験できます。そして何より大切な看護の心。三育学院大学は、これら全てを身につけられる学校です。

古賀友愛 Tomoe Koga
私立 女子聖学院 高等学校出身

世界に広がる三育教育ネットワーク

三育学院大学には全世界に113の系列高等教育機関があり、看護学を専攻できる大学も数多くあります。短期留学をサザンアドベンチスト大学で行うほか、系列大学の大学院進学の窓口は大きく開かれており、本人がやる気にさえなれば世界中に学びの舞台が用意されています。特に医学部を中心に医療系に特化したロマリンダ大学は、全米の中でも最先端の研究・教育が行われており、高度な看護の学びを続けられます。世界に教育ネットワークを持つ三育学院大学ならではのメリットです。



A アメリカ カリフォルニア州

Loma Linda University

●大学院(主要専攻分野)／看護学、公衆衛生学、救急医療、心理学、社会福祉学、カウンセリング、生物医学、臨床伝道学、呼吸療法、医学全分野、歯学全分野、薬学、言語実験病理学、聴覚学、放射線技師、歯科衛生士、医業助手、人体学、解剖学、健康関連学、医学臨床倫理学、医療情報システム　他　●大学(主要専攻分野)／看護学、公衆衛生学、栄養と食餌学、放射線技術、医療情報学　他

健康科学、予防医学の分野で世界的に名前の知られた医療系大学。看護学だけでなく、医学、歯学、薬学、救急医療、医療技術、カウンセリングなど医療に関するあらゆる分野が集積している。最先端の医療を学ぶ4,000名以上の学生の中には留学生も多く、学生の出身国は80ヶ国以上にもなる。彼らの多くは卒業後世界中の医療現場で活躍しているが、現場経験を積んだ後再びロマリンダ大学に戻り、研究者や教育者になるべく学びを進め、次世代の医療者の育成に携わる者も多い。キャンパス周辺は極めて犯罪の少ない地域で、留学生も安心して生活できる。

B アメリカ テネシー州

Southern Adventist University

●大学院(主要専攻分野)／看護学、宗教学、コミュニティ・カウンセリング、学校カウンセリング、結婚・家族療法、教育学 他　●大学(主要専攻分野)／看護学、生物学、医療技術、ビジュアル・アート、現代語(フランス語、ドイツ語、スペイン語)、教育心理学、初等教育、中等教育、英語学、宗教学、神学、考古学、体育、家族・社会研究、社会福祉学、ソーシャル・スタディ 他

アメリカ南部、テネシー州にある、学生総数2,500名ほどの中規模大学。看護学部2年次の選択科目「異文化演習」で行われる３週間の語学研修は、この大学のキャンパスで行われる。看護学部のほか医療衛生などの専門分野の予科が充実しており、看護・医療に関して幅広く学ぶことができる。また三育学院大学同様学内の寮が充実しており、およそ6割の学生がキャンパス内で生活している。他の系列大学同様、キャンパス内の安全対策は万全で、女子学生でも安心して生活する環境が整っている。

世界の健康格差に目を向けて

教授　国際看護論　鶴岡章子 Shoko Tsuruoka

日本をはじめとする先進国と開発途上国には、同じ地球に存在しているにもかかわらず大きな健康格差が生じ、今日でも世界的な問題となっています。国際看護論では、世界で発生しているさまざまな病気や健康問題の原因をさぐり、健康格差の現状を理解し、原因となる諸問題を考え、国際看護活動、国際協力の展開に必要な基礎的知識を学びます。さらには、本学の設置母体であるSDA教団が支持母体となっている国際支援団体ADRA Japan※(アドラ)の協力を得て、ADRAが展開する国際協力活動の現場を訪れ、現地の人々との異文化コミュニケーションを体験しながら国際協力活動の実際を見学、体験する国際看護実習にも参加できます。世界にネットワークをもつ本学だからこそ学べる科目と言ってもよいでしょう。

本学の特徴を知り、「国際看護を学びたい」と志望する入学生が増えています。国際性に富んだ視野を広げ、国際交流、国際協力関係を築く知識と姿勢を身につけてほしいと考えています。

※ADRA Japan：http://www.adrajpn.org/

健康的なSDAライフスタイル

健康的なSDAライフスタイルが実践できる豊かな自然環境や食生活

三育学院大学がある千葉県大多喜町は豊かな自然に囲まれた「お城と峡谷の町」。都会の賑やかさはありませんが、腰を据えて看護のプロを目指して学ぶには最適の環境です。このキャンパスで心を静めキリスト教の精神や価値観に触れることにより、本学の目指す全人的教育を体験することができます。多くの学生、教職員も隣接する住宅に居住しており、授業を離れても学生と教職員が親しく交流できることは、三育学院大学ならではの大きな特徴です。

食堂では地域の食材を使ったヘルシーなベジタリアン食が提供され、聖書の教えに基づき身体だけでなく、精神的、生活態度、価値意識を含めた総合的な健康を目指すライフスタイルを送ることができます。

規則正しい健康的な生活の中で本当に必要なものは何かを考える

ハードな看護の学び。日々の勉強はもちろん、実習が始まるとレポート作りや翌日の準備などに追われる毎日が続きます。そんな私たちを健康面から支えてくれるのが、三育学院大学ならではのライフスタイルです。

まずは規則正しい生活習慣です。一人暮らしだと何かと生活パターンがルーズになりがちですが、寮生活だと朝は6時に起床。夜は勉強やおしゃべりで遅くなることも時にはありますが、基本的には十分な睡眠時間をとることができます。

それから食事。食堂では朝昼晩と決まった時間に栄養バランスの整った食事が用意されています。どんなに忙しくてもきちんと食事をすることができるのは本当に助かります。

自然豊かな環境で規則正しく健康的な生活を送る三育学院大学のライフスタイルは、すべてキリスト教を土台としています。都会での華やかな学生生活も良いですが、ここでは「人間にとって本当に大切なものは何か」ということを深く考えることができます。看護を知識や技術として学ぶことも大切ですが、人の命に携わる看護師を目指す上でこのようなことを考えることは、とても貴重な財産になると思います。

福地 燈 Akari Fukuchi
私立 広島三育学院高等学校 出身

ヘルシーなベジタリアン食が自慢の三育食堂

本学の食堂は、穀物と野菜・果物を中心としたベジタリアン食【穀(こく)菜(さい)果(か)食(しょく)】で、中でも植物性食品に卵、乳製品を加えた「卵乳(らんにゅう)菜食(さいしょく)(Lacto-ovo-vegetarian)」という、食事スタイルを提供しています。

ベジタリアン食は一般的な食事に比べて動物性脂肪が少なく、食物繊維やビタミン・ミネラル、抗酸化物質を多く摂れることから、健康増進や疾病予防に効果的であることが報告されています。大豆グルテンで作るハンバーグやカツとじなどは学生にも大人気。定番の味噌ラーメンやグラタン、カレーライス、焼きそばも人気があります。

また本学が立地する大多喜町周辺は、千葉県でも有数の農業が盛んな場所。食堂でも地元産のお米や旬の野菜をふんだんに使っています。地元産の新鮮なレタスのサラダをはじめとする野菜メニューも、学生には好評です。

＊メニューの例

・大多喜産のお米
・味噌汁
・豆腐れんこんハンバーグ
・ひじきの胡麻マヨ和え
・キャベツの煮浸し

れんこん、小松菜は地元産です。ハンバーグのつなぎに入っているれんこんがしゃきしゃきして美味しいです。

・大多喜産のお米
・けんちん汁
・茄子のミートグラタン
・菜花の磯和え
・ひじきれんこん

菜花、れんこんは地元産です。ミートグラタンのトマトソースは小麦の粒が入っています。メキシカンな味です。

INTERVIEW

管理栄養士 棚橋ゆか Yuka Tanahashi

卵乳菜食を食べつくした経験をもとに、「より美味しく、より健康的な」メニューを学生に提供し続けている。現在も自身の休暇を利用してADRAの海外支援プロジェクトに栄養管理スタッフとして参加しており、国際医療に興味がある学生には、管理栄養士という立場だけではなく、一先輩としてアドバイスを送っている。

ボランティア活動・労作教育

奉仕の心や協調性を育む
ボランティア活動と労作教育

キリスト教に深く根ざした大学として、他大学にはないユニークなボランティア活動と労作教育があります。ボランティア活動には学生が自主運営し、毎年アジア諸国で数週間、学校や教会建築などのお手伝いをする「ATI(アジアと共に生きる会)」や老人ホーム、養護施設への訪問、近隣の病院・施設などでの聖歌隊、ハンドベルによるコンサートなど、身近なボランティア活動を通して、看護に必要な奉仕の姿勢を学びます。

看護師を通して世界で働きたいなら
ぜひボランティアを体験してください！

ATIは「アジアと共に生きる会」の略。文字通り東南アジアを中心に教会建築をしたり、簡単な健康教育をしたりするボランティアグループです。もともと開発途上国の援助活動に興味を持っていたのですが、三育学院大学に入学してATIの存在を知り、迷わず参加しました。

プロジェクトに参加して印象に残っていることは沢山ありますが、一番良かったのは言葉や文化の壁を越えて家族のような存在ができたことです。現地の村人と数週間同じような生活をして、同じご飯を食べて、一緒に働く中で、ATIメンバーも村人も、お互いを本当に家族のように思えるようになりました。思うようにコミュニケーションは取れなかったけれど、それ以上に気持ちが通じ合い、現地を去るときには村のお母さんたちが泣きながら、私たちを娘のように抱きしめてくれました。世界のどこかにお互いに大切な人がいるのは、とても嬉しく心強いことです。

アメリカの最先端の看護を学べると同時に途上国とのつながりも深い三育学院大学。看護を通して世界で働きたいと考えている人は、ぜひここで海外ボランティア活動を体験してください。皆さんと一緒に働くのを楽しみにしています。

角掛百合子 Yuriko Tsunokake
私立 敬愛大学八日市場高等学校 出身

■近隣地域におけるボランティア活動

本学ではボランティア活動が盛んに行われています。学校近隣での活動は、児童養護施設、身体障害者施設、老人ホームなどへの訪問です。いずれも大学から車で10分から40分ほどの場所にあり交わりの時間を持っています。普段勉強に忙しい学生たちも、元気を得、癒されるひと時です。

■労作教育について

全人的教育実現のため、カリキュラムの大きな特色の一つに労作教育があります。その目的は働くことの尊厳を理解し、人生に対する基本的姿勢を学び、人間性の回復を体験することです。食堂やキャンパス管理、図書館、校舎清掃部門での働きから、学内でのアルバイトをすることができます。

■聖歌隊活動について

聖歌隊は前身の専門学校、短期大学から50年以上の長い歴史と伝統をもつ混声合唱グループです。過去にはアメリカ、ルーマニア、韓国などへの海外演奏旅行を含め、毎年近隣地域から全国各地での公演をしています。また、ハンドベルコワイヤーも県内各地を中心に演奏活動をしています。

三育グループの社会貢献

医療分野

東京、神戸、沖縄にセブンスデー・アドベンチスト教団が経営する総合病院があります。いずれも地域医療の拠点として、地域の患者様との信頼関係を大切にしながら、安全で質の高い医療を提供しています。看護師は患者様に一番身近に接するスタッフとして、患者様が安心して医療を受けられるようコミュニケーションを取りながら看護していくことが求められますが、キリスト教に基づく看護の精神を深く身に付けた三育学院出身の看護師は、病院内外を問わず、非常に高い評価を頂いています。

東京衛生病院・教会通りクリニック・歯科クリニック(東京都杉並区)
●http://www.tokyoeisei.com/
神戸アドベンチスト病院(神戸市北区)
●http://www.kahns.org/
アドベンチスト・メディカルセンター(沖縄県中頭郡西原町)
●http://www.amc.gr.jp/

福祉分野

東京、神奈川、千葉に20の施設を持ち、特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどを展開しています。看護師としてのキャリアを積んだ後、ケアマネージャーに転職して、看護師としての経験を生かしながら介護の中心的な役割を担っている卒業生も少なくありません。常に相手の立場から介護を考え、一人ひとりに最もふさわしいケアを提供する姿勢とスキルを併せ持つ三育学院の卒業生は、福祉分野でも非常に高く評価されています。

【三育福祉会】特別養護老人ホーム「シャローム」、ケアハウス「ルツの家」
身体障害者療護施設「シャローム浦上台」、地域包括支援センター
【三育ライフ】特別養護老人ホーム「シャローム東久留米」、高齢者在宅サービスセンター
「シャローム南沢」、グループホーム「白山」、東久留米市中部地域包括支援センター
東久留米市幸町デイサービスセンター、通所・訪問介護事業他「シャローム若葉・桜木」
通所・訪問介護事業他「シャローム若葉・若松」、グループホーム「虹の家」、
在宅介護支援事業他「シャローム若葉・区役所前」、「千葉市あんしんケアセンターシャローム若葉」
【アドベンチスト福祉会】特別養護老人ホーム「シャローム横浜」、ケアハウス「シャローム桜山」
在宅介護支援事業所「シャロームひかりが丘」、認知症グループホーム「ミルトスの木　上白根」
知的障害者グループホーム「サフランの家」横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

国際協力分野

セブンスデー・アドベンチスト教会が支持母体である国際支援団体(ADRA)を通じて全世界規模で医療・福祉ボランティア事業を実践しています。日本を含む世界126ヶ国に支部を持ち、約200の国や地域で、国連などの国際機関と連携しながら、通常の医療・保健サービスが受けられない人々を対象に支援活動を行っています。
三育学院の卒業生の中には、看護師としての臨床経験を積んだ後に、国境を越えて世界中の人々の医療や人命救助に尽力する人も少なくありません。助けを必要としている人に積極的に手を差し伸べ、彼らと真摯に向き合う姿勢が自然に身に付いている三育学院の卒業生は、文化の違いや言葉の壁に関係なく、世界のどこにいっても高く評価されています。

特定非営利活動法人ADRA JAPAN
●http://www.adrajpn.org

教育分野

キリスト教を土台としたスピリチュアルケアと、看護のスキルの両面において非常に高いレベルを有している三育学院の卒業生たちは、養護教諭として児童・生徒の健康管理だけでなく、身体の不測の背景にある心の痛みまでもケアをしながら子供たちの成長を優しくサポートしています。幼稚園から大学まで広がる三育教育ネットワークから、広く各地において活躍しています。

【大学】三育学院大学・短期大学・カレッジ
【高等学校】広島三育学院高等学校
【中学校】(全国に3校)北浦三育、広島三育、沖縄三育
【小学校】(全国に10校)札幌三育、函館三育、久慈川三育、光風台三育、東京三育
横浜三育、広島三育学院大和、広島三育学院、鹿児島三育、沖縄三育
【幼稚園】(全国に5校)札幌三育、盛岡三育、横浜三育、広島三育、鹿児島三育
●三育教育機関　http://www.saniku.jp/12/

プロフェッショナルとして活躍の場を拡げる

卒業生メッセージ

MESSAGE 1

患者様の笑顔が戻るように

私は三育学院で、看護の基本である患者様を中心に考えること、また患者様にとって何が必要かをともに考え、支えとなれるように自ら学ぶ専門職としての姿勢を教えていただきました。くじけそうな時は、寮生活をともに過ごし、勉強や実習を励まし支えあう仲間がそばにいて支えてくれました。三育学院での学び、友人は今でも私の大切な宝物となっています。

卒業後は、東京衛生病院で内科・小児科・外科病棟で看護師として働き、現在は皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を得て、創傷や排泄ケアで問題を抱えておられる患者様への専門的ケアを行っています。患者様の笑顔が戻れるようにサポートするやりがいを感じています。

東京衛生病院勤務　看護師
（皮膚・排泄ケア認定看護師）

石井 幸さん
MEGUMI ISHII

1990年卒業※
私立広島三育学院高等学校出身

※三育学院短期大学看護学科卒業生

MESSAGE 2

地域の方に寄り添いながら

私は三育学院を卒業後、習志野市内の病院で2年間病棟勤務を経験し、2007年度から御宿町役場で保健師として働いています。保健師として6年目を迎え、新生児訪問や乳児相談など母子保健事業、健康相談や健診などの健康増進事業など様々な分野を経験させていただいています。しかし、どの分野でも三育で学んだ、対象者は個人だけでなくその家族や地域性を考え、相手に寄り添い、相手の立場になって考え支援することの大切さを思い出し、またそれらを実際の現場で活かしています。

これからもこの学びを忘れず、住民の立場や環境を考え、必要な支援ができるよう、住民の健康を支える保健師として成長していきたいと思います。

御宿町役場
保健師

鈴木咲千香さん
SACHIKA SUZUKI

2004年度卒業※
千葉県立大原高等学校、
千葉県医療技術大学校看護学科出身

※三育学院短期大学専攻科卒業生

MESSAGE 3

高校生と共に生きる

私は、看護師として臨床経験を積んだ後、三育学院で学び、現在は母校で勤務しています。教育現場では、看護の知識や技術に加えて、心の問題や発達障害などの視点が必要となります。これらの視点は全て"人々が自分らしく生きる"上では共通であり、看護そのものです。

生徒の心に寄り添う時、自分を理解している幅でしか相手を理解できないことを痛感します。だからこそ、自己をより深く理解した上で、生徒自身が持つ力をどれだけ信じられるかが問われます。三育では、他者が持つ力を信じて寄り添う姿勢や、「生きる力」育成の重要性を学びました。今はその学びを糧とし、生徒と関わることに喜びを持ちながら働いています。

基督教独立学園高等学校
養護教諭

安彦真穂さん
MAHO ABIKO

2010年卒業※
私立基督教独立学園高等学校出身

※三育学院短期大学専攻科卒業生

MESSAGE 4

バランスのとれた広い視野を

病院で看護師として勤務した後、大学院で公衆衛生を学び、国際機関やNGOの一員として紛争・災害後の復興支援や、発展途上国での医療・保健活動に従事し、現在はジュネーブの国際看護師協会でナース・コンサルタントとして働いています。三育学院在学中にネパールでの母子保健活動に参加したことをきっかけに、海外で保健事業に携わるようになりました。自分が直接医療サービスを提供するよりも、その国や地域の人たちの自立を支援することが主で、特に身体的な病だけでなく、地域の環境や社会全体がより健康なものとなるよう働きかけることが大切です。三育学院で学んだ「人間の心と体の癒しのために仕える全人的看護」は、まさにこの働きの土台となるもので、現在の国際看護師協会での働きにも大変重要なものとなっています。ぜひ他者への思いやりとバランスのとれた広い視野を三育学院大学で学んでください。

国際看護師協会
ナース・コンサルタント

草野由紀子さん
YUKIKO KUSANO

1995年卒業※
私立広島三育学院高等学校出身

※三育学院短期大学看護学科卒業生

MESSAGE 5

自由に考えることの大切さ

私はコンチネンス・アドバイザーという排泄ケアを専門とする看護をイギリスで学び、今は日本でNPO法人代表として活動に携わると同時に、複数の病院で排泄看護を実践しています。

私の仕事の背景には三育学院での学びが生きています。「看護はアートである」という言葉を授業で学びました。アートは技術、そして芸術とも訳されます。また「自由に考えることの大切さ」を学びました。看護は創造でもあります。患者様と良い関係を創り、良いプランを共に創り、良い結果を創る。枠に縛られない創造的なケアを認める教育によって、新しい分野でケアや社会を創ることができるのです。

今でも三育学院の先生方にお会いすると学生帰りして甘えてしまうのですが、それができる母校に感謝しています。

NPO法人
日本コンチネンス協会会長

西村かおるさん
KAORU NISHIMURA

1980年卒業※
高知県立高知追手前高等学校出身

※専門学校日本三育学院カレッジ看護学科卒業生

就職実績

2011年度に三育学院大学看護学部第一期の卒業生が就職しました。前身の三育学院短期大学の頃から就職状況は非常に良く、大学改組後の卒業生も、本学系列の病院はもとより、首都圏を中心に高度医療設備を持つ病院に就職しています。

三育学院大学
看護学部看護学科

2014年度卒業生就職実績

看護師

東京衛生病院
神戸アドベンチスト病院
（以上本学系列・実習病院）
アドベンチストメディカルセンター
（本学系列病院）
市立根室病院
鎌ケ谷総合病院
亀田総合病院
船橋市立医療センター
板橋中央総合病院
慈雲堂病院
東京都済生会中央病院
東京警察病院
東京西徳洲会病院
日本医科大学多摩永山病院
日本赤十字社医療センター
三宿病院
海老名総合病院
湘南藤沢徳洲会病院
秦野赤十字病院
横浜労災病院
清水病院
熊本赤十字病院

進学

天使大学大学院
日本赤十字社助産師学校

こんなに濃密な学生生活は三育学院大学でしか味わえない！

学生座談会 CROSS×TALK

廣田恵子さん
私立広島三育学院
高等学校 出身

五木田未穂さん
千葉県立松尾高等学校出身

平山一聖さん
私立九州産業大学付属
九州高等学校 出身

野地小百合さん
私立尚絅学院高等学校 出身

林崎真里菜さん
千葉県立成東高等学校出身

●三育学院大学に入ろうと思ったきっかけは?

野地:高校の進路指導の先生が三育高校出身で、紹介してくれました。寮生活を通して大きく成長できそうだと思い、進学を決めました。

平山:寮があって、少人数というところが気に入って指定校推薦で入学しました。きめ細かい教育が受けられると思ったからです。

林崎:高校時代に病院でボランティアをしたことがきっかけで看護師になる決意をしたのですが、その病院から薦められました。いとこが卒業生だったのですんなり決めました。

五木田:高校の部活の顧問と養護教諭の先生から三育を薦められました。学生と先生の距離が近く、フレンドリーな雰囲気が好きになり、入学を決めました。

廣田:クリスチャン家庭で育ったので、最初から三育学院のことは知っていました。患者さんの心に寄り添えるクリスチャンナースという考え方に深く共感したので、迷わず三育学院を選びました。

一緒に暮らし、多くの試練と困難を ともに乗り越えた仲間は一生の財産

●入学後、三育学院で学んで良かったと 思うことを教えてください。

野地:やはり寮生活です。最初は不安でしたが、たくさんの友人と出会い、親元や一人暮らしでは考えられないほど強い絆を作ることができました。4年間生活を共にしながら、多くの試練と困難を共に乗り越えた友人は、私の大きな財産です。

平山:初めてキリスト教に触れたことは大きかったです。最初は知らないことばかりでしたが、、少しずつ理解を深めていく中で、人生の中に揺るがない道のようなものができたように感じます。

林崎:「人のために自分ができることは何か?」ということを常に考えられるようになったことです。キリスト教が学校生活全てに根ざしていることや、寮生活、人間関係の近さといった環境のおかげだと思います。

五木田:寮生活を通して家族のような仲間ができたことです。学年や性別を問わずたくさんの人と仲良くなることができました。楽しいことも辛いことも一緒に分かち合い、遊びも勉強も一緒に頑張ってきた仲間は、三育学院だからこそ得ることができました。

廣田:実習で患者様一人ひとりとじっくり向き合う経験をたくさんできたことです。最初は不安だらけでしたが、先生や先輩の看護師の方々、患者様ご自身にも助けられながら、患者様のことを第一に考え、心からの看護をさせていただくことの大切さを学ぶことができました。

共に生活し、支えあいながら しっかり勉強に取り組む4年間

●大多喜キャンパスでの学生生活はどうでしたか?

野地:都会とは違うので、普通の高校生がイメージする大学のキャンパスライフとはかけはなれていると思います(笑)。でも自然豊かな環境で健康的な生活をしながら勉強に集中したり、友達一人ひとりとじっくり向き合ったりできたのはとても良かったです。

平山:繁華街からかなり離れた自然が豊か過ぎる場所なのですが、川や海で遊んだり、ピクニックをしたり、冬の寒い中外で鍋を囲んだり、山に登るなど、たくさんのことをしました。ものがあふれている今、何もない場所でどれだけ楽しめるかということを考える4年間はとても貴重だったと思います。

林崎:24時間常に友達がいるという状況から多くのことを学びました。時には自分のイヤなところが出てしまったり、人間関係に迷ってしまうこともありましたが、4年間の生活全てを友達と共有する中で大きく成長できたと思います。私は大多喜で人生観や価値観が大きく変わり、常に人のことを考えるようになりました。

五木田:寮と学校がすぐ近くなのが良かったです。勉強やガールズトークで深夜になっても授業を欠席せずに済むし、夜間や休日にも図書館に行って集中して勉強できました。オフのときは体育館でバレーボールをしたり、近くのカラオケに行って盛り上がるなど、楽しく過ごせました。

廣田:看護師を目指すうえで、同じ目標をもった友達といつも一緒にいられたのは心強かったです。4年間の勉強は決して簡単なものではありませんでした。でも教室でも寮の勉強部屋でも、お互い励ましあえる友達のおかげで乗り越えることができました。

●荻窪キャンパスでの学生生活はどうでしたか?

野地:荻窪ではレポートや準備に追われる日々でとにかく慌しかったです。大多喜とは違い同学年だけなので、みんなで一緒に頑張ろうという気持ちが特に強く、励ましあいながら頑張りました。週末は友人と食事に出かけたり買物をしたりと、大多喜とは違う都会の生活を楽しみました。

平山:何もない田舎から都会に行くのでとても楽しみにしていました。実習は本当にハードでしたが、なんとか時間を作って外出するなどして解放感を味わっていました。でもしばらくして疲れがたまってくると、意外にも大多喜の自然豊かな環境に戻りたくなったりして(笑)大多喜に戻ったときは、やっと帰ってこられたとほっとしました。

林崎:実習は大変だったけど、とにかく楽しかったです。病院で実際に患者様と接することで自分が看護師という夢に着実に近づいていると実感できたし、仲間と一緒に乗り越えてきた感じが本当に良かったです。

五木田:病院と直結していたのでとても刺激的でした。領域別実習は本当にハードで心が折れそうになることもありましたが、同じ部屋の友達や実習のグループメンバー達と気持ちを一つにして頑張りました。ONとOFFをしっかり切り替えられる生活だったので、OFFのときはしっかりはじけて楽しみました。

廣田:初めて東京に住んだので、まずそれが嬉しかったです。実習が大変で、時間との戦いが続いていた印象が強いですが、合間を見ては友達と食事に行ったり遊んだりと、今考えればそれなりに息抜きもできました。

●将来の夢を教えてください。

野地:助産師の資格を取り、お母様とお子様、そしてご家族をサポートできる専門職者を目指しています。もともと興味を持っていたのですが、東京衛生病院の分娩室でのアルバイト体験や母性看護学実習を通して目標が定まりました。卒業後は助産師免許取得のため、一年間東京の助産師学校で学びます。

平山:具体的な大きな夢はまだありませんが、常に笑顔で患者様に接していくことができる看護師を目指したいです。まずは看護師として当たり前のことを当たり前にできるよう、経験を重ねていきたいです。

林崎:私もどのような専門を選ぶかまだ決めてはいません。でも三育学院で学んだことを生かして、常に患者様のことを第一に考え、必要なケアを提供できる看護師を目指して頑張ります。

五木田:知識や技術はもちろんのこと、常に人の気持ちに寄り添い、患者様やご家族の方に笑顔になっていただけるような看護をできるようになりたいです。臨床経験を積んだ後は、その経験をいかして養護教諭になりたいです。

廣田:私の目標は癌病棟で働くことです。癌を患っている方が非常に多い時代。患者様にしっかり寄り添い、少しでも心を癒して差し上げられるような看護師になりたいです。癌に関連する認定看護師の分野はいくつかありますが、経験を積む中でどの分野に進むか考えていきたいです

●最後に、受験生に一言アドバイスをお願いします。

野地:自分を支えてくれる家族、友人、先生方への感謝を忘れず、目の前のことに一生懸命取り組んでください。それは大学合格だけでなく、大学での勉強、そして看護師になってからも変わらない大切な姿勢です。

平山:三育学院大学はスポーツや音楽も盛んです。勉強もしっかりやりながら、サッカーやバスケットボール、バレーボール、楽器などを通してどんどん自分の世界を広げて欲しいと思います。

林崎:ここは看護師としても人間としても大きく成長できる場所。私は三育学院大学に入学してよかったと心から思っています。皆さんにも絶対オススメです!

五木田:他人のことを大切に考え、行動できる人にとって、三育学院大学はベストの環境が整っています。勉強をはじめ大変なことはありますが、自分の夢や意思を大切にしてチャレンジし続けてください。

廣田:三育学院大学は、言葉で言い表せないほどの魅力が詰まっています。特に看護で一番大切な「愛、優しさ、温かさ、感謝」を学ぶには、これ以上の場所はないと思います。田舎での寮生活に二の足を踏む人もいるかもしれませんが、ぜひ一度見に来てください!

SANIKU OPEN CAMPUS!

三育の魅力、全部見せます！

予定されるイベント
学科紹介
入試説明会
個別相談
（教員・学生による学生生活、奨学金、入試等）
在学生ガイドによるキャンパスツアー
三育カフェ菜食ランチ
※詳細スケジュールは
ホームページを御覧ください。

オープンキャンパスは、「三育」を体験し、未来のあなたを実感できる1日です。人体模型を使い正常な心音と異常のある心音を聞き分ける、一足早くお母さんを体験する赤ちゃん抱っこから高齢者体験などの看護ミニ体験はもちろんのこと、模擬授業など、入学後の生活をリアルにイメージできるチャンスです。

三育生活には是非見て、知っておきたい寮生活も直接先輩たちに聞いて見学しておきたいポイント。お昼は三育カフェのランチ体験も学生と一緒にしていただきます。オープンキャンパスの1日、ロイヤルブルーユニフォームのスタッフと"三育"を体験してみましょう。

もちろん、入試説明や教員による個別相談、キャンパスツアーなど、知りたい情報をゲットしてあなたのキャンパスライフを体感して下さい。

三育学院大学オープンキャンパス【大多喜キャンパス】（要予約）

6/7（日） **7/5**（日） **7/26**（日） **8/23**（日） **10/4**（日） **11/29**（日）

時間：11:30～15:00
内容：学校紹介・キャンパスツアー・学科別ガイダンス・入試対策講座・入学案内等の配布・過去問題例の説明
参加ご希望の方は事前に電話でご予約ください。

三育学院大学・アドミッションオフィス TEL. 0470-84-0260

●参加者のためのスクールバスを（JR外房線茂原駅、勝浦駅、袖ヶ浦バスターミナル）まで運行します。【要予約】

1泊2日の体験入学も受け付けています。お気軽にご相談ください！

看護学体験セミナーもあります

- 7/19（日） アドベンチストメディカルセンター
- 7/26（日） 神戸アドベンチスト病院
- 7/30（木） 三育学院大学東京校舎

6/7sun. 7/5sun. 7/26sun. 8/23sun. 10/4sun. 11/29sun.

教員と学生の距離が近く、アットホームな雰囲気を感じてください！

受験生の皆さんこんにちは!皆さんは今大学選びにあたって、たくさんのことを考え、また悩んでいることと思います。特に三育学院大学は寮生活があるので、学生生活がイメージしにくいのではないでしょうか。

でも、それは私たちも入学前に感じていたこと。だから三育学院大学のオープンキャンパスでは、学生生活の全てをわかってもらえるよう学生も教員も全力でサポートします！

同じキャンパスで生活しているので教員と学生の距離が近く、家族のように仲が良いのが三育学院の一番の特徴。実際オープンキャンパスに来ていただいた方からも、アットホームな雰囲気が良くわかったと評価していただきました。他大学にはない、三育学院ならではの良さを、ぜひ体で感じてください！

蒔田雅衣さん Mai Makita 私立 広島三育学院高等学校 出身

他大学にはない三育学院の良さを私たちが全てお伝えします！

他の大学のオープンキャンパスは好きな時間に好きなところへ行けて好きな時間に帰れる、というのが多いと思います。しかし、三育学院大学のオープンキャンパスは開始も終了も時間が決まっていて、プログラムもだいたい決まっています。私たち学生も皆さんのすぐそばにいて一緒に行動するので、皆さんと私たちの距離感はとても近いです。

寮生活をはじめ、三育学院大学には他の大学と違うところがたくさんあるので、少し説明を聞いて見ただけではわからないところもあります。そのような時は近くにいる教員や学生に気軽に聞いてください。どのようなことでも丁寧にお答えします。大学選びはとても大切です。皆さんの大学選びのお手伝いが出来るよう私たちも頑張ります！

近藤美希さん Miki Kondo 私立 木更津総合高等学校 出身

三育学院大学ならではの良さを感じてください！

寮生活、卵乳菜食、キリスト教、多彩なイベントetc.　三育学院大学には、他大学にはないユニークな特徴がいっぱいです。

自然豊かなキャンパスでは鳥や動物の声が聞こえてきたり、四季を目で見て楽しむことができます。都会と違って周辺にお店や娯楽施設はほとんどありませんが、逆にこのような場所だからこそ得られることがたくさんあります。寮生活を通して、当たり前に感じていた家族への感謝の気持ちが生まれますし、何でも語り合える友達もできます。

オープンキャンパスでは、三育学院大学ならではの良さを、実際に見て、触れて、感じてください。一人でも多くの人に三育の良さを伝えられるよう、私たちも頑張ります！

山本昂さん Ko Yamamoto 北海道岩見沢西高等学校 出身

ナビゲーターの私たちが三育学院の魅力を全て見せます！一緒に楽しみながら三育を体験しつくしましょう！

地元産の野菜をふんだんに使った学食は要チェック！ヘルシーでおいしい料理にはまる学生続出中！

もちろん看護学ミニ体験も見逃せない！私たちが聴診器の使い方を優しく指導します！

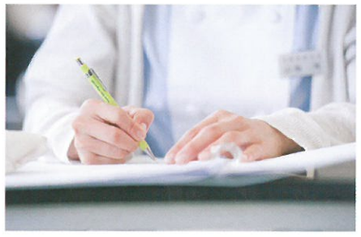
看護学部看護学科　入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

Ⅰ. 教育理念

三育学院大学は、「人間にとって最も大切なものは何か」を探求し、教育の主眼としてきました。本学に学ぶ学生が、聖書の示す愛を土台とし、神と隣人に対して十分な奉仕をするため、人間の備える霊性（spiritus）、知性（mens）、身体（corpus）の全ての面を最大限に発達させ、円満な人間形成を実現すること（To Make People Whole）、これが本学の基本理念です。

Ⅱ. 使命

本学部学科は、全人的看護（ホリスティック・ナーシング）を教育目標としています。ホリスティック・ナーシングとは、看護を行うものとその看護を受ける対象者が共に、人間の尊厳と回復と維持、ならびに心と体の調和のとれた健康の保持増進を目指し、常に「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」との聖書の言葉を具体的に実践する看護です。このような全人的看護を目指す看護師、保健師を育成し、広く社会に貢献することが本学の使命です。



Ⅲ. 求める学生像

看護学部看護学科では、スピリチュアルケアを実践し、社会に貢献できる看護専門職の育成を目指しています。そのため、看護職者として必要な次の資質を備えている学生を求めます。

1. 本学への入学を強く希望し、将来、看護専門職者として働きたいという明確な目標を持っている人。
2. 本学教育の基盤となるキリスト教を理解し、クリスチャンナースとしての特性を身につけようと努力ができる人。
3. 積極的に学んでいこうとする意欲を持ち、生涯にわたって自己研讃に励むことができる人。

具体的には、看護学を学ぶために必要な基礎学力と思考力、他の人と交流する事ができるコミュニケーション能力、直面する課題を解決しようとする意思と能力を求め、次のような方法で入学選抜者試験を行います。

1. 指定校推薦入学試験
2. 公募制推薦入学試験
3. AO入学試験
4. 一般入学試験

本学では全ての入学試験において面接試験を実施し、その結果を重視しています。面接試験では、コミュニケーション能力や問題解決能力を審査すること、また看護学への関心や学習への取り組み、意欲などについて自分の考えを積極的に表現することを期待しています。

三育学院大学は奨学金も充実！

本学は各種の奨学金制度を設け、人物・学業にすぐれ、経済的理由により修学が困難な学生に対して経済的支援を行っています。本学の奨学金制度が充実している理由の一つは、同じ理念で運営されている系列の病院が三育の理念を身につけた看護師を必要としているからです。卒業後数年間は系列病院で勤務することが返還免除の条件となっている奨学金もあります。系列病院ではこの期間を利用して、卒業生が看護師として一人前に成長するまで、本学と同じ理念に基づき継続教育を行います。

●看護学科特待生奨学金【基本的に返還義務なし】

資　格：新入生の中で①正規生志望の入学志願者②学業成績が優秀な者③人物が優秀な者④学資の支弁が困難な者。
支給額：入学年度1年間の授業料相当額
人　数：2名

●千葉県保健師看護師奨学金

資　格：卒業後直ちに千葉県内において保健師または看護師として就業することを誓約する者。3年、4年次は保健師課程の正規生であること。（県の修学資金と併用可）
支給額：第一種年額60万円、第二種年額20万円
人　数：各学年から第一種1名、第二種2名

●SDA病院奨学金（一般・貸与）【一般は基本的に返済義務無し】

資　格：SDA病院協議会に属する医療機関の看護師養成を目的とし、SDA3病院（東京衛生病院、神戸アドベンチスト病院、アドベンチスト・メディカルセンター）のいずれかの病院において看護業務就業を誓約する者。
支給額：〈一般奨学金〉各年次につき600,000円（各年審査）
〈貸与奨学金〉4年間で2,000,000円
2年毎に1,000,000円までの支給を原則とする
人　数：入学定員のおおよそ5割。年度により増減の可能性があります。
補　足：一般奨学金は就業義務を果たすと返済義務なし。貸与奨学金は一般奨学金申請者で更に貸与を希望する者に支給。卒業後返済義務あり。

●一般入学試験成績優秀者特別奨学金

一般入学試験に合格し入学する方の内、成績優秀な方に50万円を給付します。（初年度）

※他にも各種奨学金制度があります。詳しくは学生募集要項をご覧ください。

2016年度入学試験概要

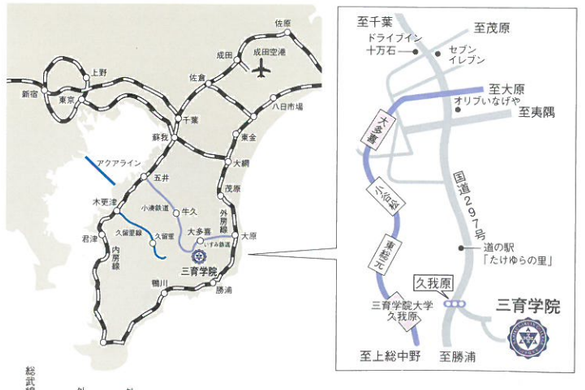
三育学院大学は、一貫した建学の精神とその使命に基づいた教育を行なっています。
そのことを理解し、積極的な意欲と明確な目標をもつ皆さんの受験を歓迎しています。

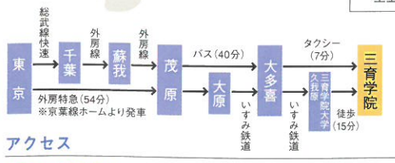
1	指定校推薦入学試験	本学の指定する高等学校長の推薦に基づく入学試験です。本学を第一志望とするもので、看護専門職者として働きたいという明確な目標をもっている方を選抜します。
2	公募制推薦入学試験	本学の理念を理解し、本学に入学する意思の確実な方（第一志望・専願）が高等学校長の推薦を受けて受験する入学試験です。
3	AO入学試験	この入学試験は、特に本学の理念に対する理解、看護学への関心や学ぶ意欲、姿勢を評価するものです。受験を希望する方はオープンキャンパスの参加が必要となります。
4	一般入学試験	もっともポピュラーな学力選抜による入学試験制度です。3科目の学力試験を行い、大学の学びに必要となる能力が備わっているかを判断します。

※ 本学ではすべての入学試験において面接試験を実施し、看護職の適性に必要なコミュニケーション能力や、関心や意欲を判断しています。
※ 入試制度・日程等の詳細については、「2016年度学生募集要項」（2015年5月中旬頃配布開始）を参照して下さい。

Access Map

■大多喜キャンパス





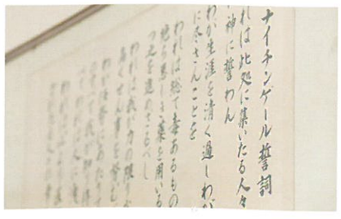
アクセス

お車でご来校の場合
東京方面からはアクアラインをご利用になり、高速圏央道「市原鶴舞インター」より国道297号線を勝浦方面へ。市原鶴舞インターより約18km、約30分。

電車でご来校の場合
ＪＲ外房線「大原駅」より、いすみ鉄道にて「大多喜駅」下車。タクシーで約7分。
または「三育学院大学久我原駅」下車。徒歩30分

スクールバスご利用の場合
本学とＪＲ内房線「五井駅」、ＪＲ外房線「茂原駅」、「勝浦駅」、いすみ鉄道「大多喜駅」との間でスクールバスを定期運行しています。

高速バスご利用の場合
東京駅八重洲口より御宿・安房小湊方面行き、「たけゆらの里・三育学院大学前」下車。



"To Make People Whole Through Christ's Love"

三育学院大学アプリ：三育学院の最新情報がスマホに届きます

Android端末の場合

Google Play ストアからダウンロードしてください。

1. 画面上の虫眼鏡マークをタップすると検索欄が表示されます。
2. 「三育学院大学」で検索してください。（三育学院大学）
3. 「三育学院大学」のアイコンをタップすると紹介画面が表示されます。
4. 「インストール」ボタンをタップするとダウンロード画面に切り替わります。
5. 「同意してダウンロード」をタップしてください。ダウンロードが開始されます。

iPhone端末の場合

App Storeからダウンロードしてください。

1. 画面下の検索マークをタップすると画面上部に検索欄が表示されます。
2. 「三育学院大学」で検索してください。（三育学院大学）
3. 「三育学院大学」のアイコンをタップするとアプリ情報画面が表示されます。
4. 「無料」ボタンをタップすると「Appをインストール」表示に切り替わります。
5. 「Appをインストール」をタップするとApple IDパスワードの入力画面が表示されます。
6. パスワードを入力するとダウンロードが開始されます。

キリストの愛を通して、全人格的成長と豊かな人間性の形成を実現する

三育学院大学 看護学部

〒298-0297　千葉県夷隅郡大多喜町久我原1500　TEL. 0470-84-0111（代）0470-84-0260（アドミッションオフィス）

http://www.saniku.ac.jp